

札幌フィルハーモニー管弦楽団

TOYOTA

第72回 定期演奏会

2026年

5月10日[日]

開場 13:00
開演 13:30
(終演予定 15:40)

カナモトホール
(札幌市民ホール)
札幌市中央区北1条西1丁目
☎ 011(252)3700



【指揮】
本多 優一

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲第2番ハ短調 作品18

ボロディン

歌劇「イーゴリ公」序曲



【ピアノ独奏】
村上 和歌子

ショスタコーヴィチ

交響曲第5番ニ短調 作品47

入場料

前売・当日 **1,000**円(全席自由)

チケット
販売

道新プレイガイド(0570-00-3871) 札幌市民交流プラザチケットセンター(0570-00-3871)

ローソンチケット(Lコード:11909) セイコーマート店内マルチコピー機(セコマコード:D26051002)

主催
共催
協力
後援
問合せ先

札幌フィルハーモニー管弦楽団
札幌・苫小牧地区トヨタ販売会社グループ、トヨタ自動車株式会社
公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟
札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞社、読売新聞北海道支社、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社(順不同)
札幌フィルハーモニー管弦楽団事務局 伊東(080-3237-2595)

*恐縮ですが、未就学児のご入場はご遠慮ください。



arts in hearts
TOYOTA

第1969回
トヨタコミュニティコンサート

トヨタは”いい町・いい社会”づくりをめざし、
1981年からアマチュアオーケストラ活動を応援しています。



いまこそ知る ロシア音楽の流れ!

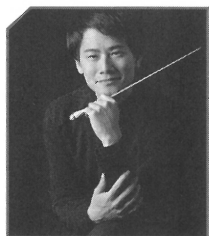
札幌フィル創立55年目の春、私たちはロシア音楽に挑戦します。これまで演奏された曲を集めました。聴きどころのひとつは、“ラフマニフのピアノ協奏曲第2番”です。これはもう皆様から多くの演奏希望をいただいている名曲ですが、今回は地元札幌を中心に広くご活躍されているピアニスト村上和歌子氏をお招きし心打つ演奏をお楽しみいただきます。

そして後半は、ショスタコーヴィチの交響曲第5番です。作曲家の交響曲の中でも最も親しまれている大曲です。新しい世界が揺れ動く中の5番! 様々な思いをこめて演奏いたします。

今回の指揮は、札幌フィル初登場の本多優一氏。氏はヨーロッパで実績をあげられ、その後新国立劇場バレエ団副指揮者として活動を続けながら、ご自身で立ちあげたオケをはじめ、さまざまな演奏会で活躍されており、今回はご縁があり東京からおいでいただきご指導いただきます。

札幌フィル55年目の音をどうぞお楽しみください。

【指揮】 本多 優一



1993年生まれ。2017年に渡独し、ハノーファー音楽演劇大学にて大植英次氏のもとで研鑽を積む。その後フランスへ渡り、2021年にパリ・エコールノルマル音楽院指揮科およびソルフェージュ科を卒業。指揮をジュリアン・マスモンド、和声分析をアレクサンドル・ベネトー、ソルフェージュをカトリーヌ・マフェイの各氏に師事した。また、2021年より大植英次氏のアシスタントを務め、実践的なりハーサルと指揮を学んだ。

2019年、第15回ドナウ国際指揮者コンクール(ハンガリー)にて第2位(1位なし)を受賞。同年、デュイスブルク・クラング・クラフト指揮者コンクール(ドイツ)にて第4位入選。ヨーロッパ各地のマスタークラスに選拔され、アンドレアス・デューク、アチム・ホルブ、アリム・シャク各氏の指導を受ける。これまでにドナウ交響楽団、デュイスブルク・クラング・クラフト管弦楽団、オロモウツ・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン・クラシカル・ソロイスト等と共演。

2022年に拠点を日本へ移し、新国立劇場バレエ団副指揮者に採用される。同団主催の『ジゼル』『くるみ割り人形』『コッペリア』『ドン・キホーテ』など、数多くの舞台制作に携わる。2022年より、神奈川チェンバーオーケストラ・アドヴァイザリーコンダクターを務めるほか、茨城交響楽団、柏交響楽団、札幌フィルハーモニー管弦楽団(2026年5月初公演)をはじめとする各地のオーケストラにおいて、客演指揮および指導を行い、継続的な信頼関係を築いている。今後も日本各地のオーケストラとの共演が予定されている。

【ピアノ独奏】 村上 和歌子



幼少の頃よりヤマハにて学び、札幌コンセルヴァトワールにて宮澤功行氏に師事。藤女子大学在学中、札幌市芸術祭新人音楽会に出演。同大学文学部英文学科を首席卒業後、渡英。英国王立音楽大学大学院ディプロマコースにてアンドリュウ・ポール氏に師事。同大学院をディステインクションにて修了。第22回スメタナ国際ピアノコンクール第3位、併せてスメタナ最優秀演奏者賞受賞。2001年より郵政事業庁高度医療研究・音楽療法研究補助員として札幌山の上病院等でコンサートを開催。これまでに毎日こどもピアノコンクール、ピティナピアノコンペティション、グレンツェンピアノコンクールの審査員、コンクール講座などを務める。ピティナピアノコンペティション指導者賞受賞等、後進の指導に力を注ぐと共に、台湾を含む各地で演奏の場を広げている。現在、札幌コンセルヴァトワールピアノ科准教授。エルム楽器特別クラス講師。全日本ピアノ指導者協会正会員、札幌音楽家協議会会員。

【演奏】 札幌フィルハーモニー管弦楽団

昭和46年(1971年)1月に創立された札幌で最も歴史のあるアマチュア市民オーケストラ。第1回定期演奏会は、昭和47年5月27日、旧札幌市民会館にて開催された。

定期演奏会では、交響曲を中心に、協奏曲にもとりくみ、札幌メンバーをはじめ多くの著名な演奏家と共演しており、海外の音楽家との共演も少なくない。

また、親しみやすい名曲を集めた「ファミリーコンサート」や市内小学校での「音楽教室」さらには道内の施設・美術館等への訪問コンサートなども頻繁に開催しており、特にコロナ禍を経て、地域の訪問演奏の機会も大幅に増え、皆様にお楽しみいただいている。

現在、団員は68名。札幌団員をはじめとする諸先生方のご指導をいただきながら、ともに音楽を楽しみたいとの気持ちでひとつになり毎週土曜日に練習をおこなっている。

札幌フィル団員募集中!

一緒にオーケストラで演奏しませんか?

現在札幌フィルでは弦楽器奏者(特に中低音楽器)を募集中です。基本的に、大学オケ程度の経験があればだいじょうぶです。練習は原則毎週土曜日18時からです。見学だけでもお気軽にどうぞ。

【お問合せ: ホームページまたは、事務局・伊東(080-3237-2595)まで】

点字プログラムのご案内

札幌フィルでは、目のご不自由な方にも演奏会を楽しんでいただくため、点字プログラムをご用意いたします。チケットをご購入いただき、事前に事務局へお申込みいただければ、当日ご用意いたします。詳しくはホームページにてご確認ください。なお、当日付添いの方は1名入場無料とさせていただきます。

札幌フィルホームページ

<http://sapporo-phil.net/>

札幌フィル

検索

楽団紹介・演奏会情報など...
※フェイスブックも是非!